



(第3期) 第11回まつもと子ども未来委員会の報告

平成29年12月7日

第3期の第11回まつもと子ども未来委員会は、平成29年11月26日（日）にMウイングで行いました。この日は、37人の委員のうち、小学校5年生から高校3年生までの、16人の委員が出席しました。司会進行は、副委員長にお願いしました。

1 12月のフォーラムについて

この日は、前回に引き続き、12月の2日と3日に、茅野市で行われるフォーラムの準備をしました。前回の意見では、①「あこがれのまち」の空想地図作り、②報告会と意見交換会、③大人と子ども未来委員会の3つの意見が出てきました。当日の分科会に、だれが来てくれるのかわかってから、決めたいという意見がありました。実行委員会の人に聞いてみたところ、11月26日の段階で、分科会に来てくれるのは、大人の人8人でした。これをふまえて、何をやりたいか、はじめに多数決を試してみたところ、①が11人、②が1人、③が3人でした。やりたい理由や、分科会の内容で疑問に思うことについて、みんなで話し合いをしました。

みんなからの意見（一部）

- ものを作ることをやりたい
- 地図作りだと、松本市や長野県のことに限定されてしまう。他の県に住んでいる人も参加するのに、長野県の地図を作ると言っても難しいのではないかな。
- 未来委員会をもっと良くするための話し合いをしたい。

こうした意見をふまえて、もう一度多数決を試してみたところ、①が2人、②が13人、③が1人でした。この結果に、①や③を選んだ人も納得したので、分科会では、②の報告と意見交換会をやることにしました。



「未来委員会をもっと良くしたい」という意見があったので、意見交換のテーマは「未来委員会をもっと良くするにはどうしたらいいか」になりました。そこで、未来委員会の課題をみんなで考えてみました。

みんなからの意見 ～ 未来委員会の課題 ～

- 知名度が低い
- 提言のレベルを上げたい
- 中高生が少ない
- 委員会のPR（委員の集め方）をどうしたらいいか

こうした課題が出てきたので、順序立てて考えてみると、「提言のレベルを上げるには、中高生の委員を増やさなくてはいけない」「中高生の委員を増やすには、知名度を上げなくてはいけない（委員会のPRを考えなくてはいけない）」という話になったので、大きな課題は「知名度の低さ」だという話になりました。



今回の分科会では、活動報告の後、「未来委員会をもっと良くするには」をテーマに、知名度を上げる方法（委員会のPRの方法）について意見交換会をすることにしました。

2 フォーラムの準備

続いて、分科会の準備をしました。分科会の次第は、次のとおりです。

次第

- 1 はじめのことは・内容説明
- 2 活動報告
- 3 意見交換（グループごと）
- 4 発表
- 5 感想・まとめ
- 6 おわりのことは

意見交換は、グループで分かれて行うことにしました。

役割が決まったあとは、必要なものを確認しました。

活動報告の原稿のほかに、全体の司会の原稿が必要になります。意見交換のときには、みんなで意見が出しやすいように、付箋に意見を書いてもらい、模造紙に貼ることにしたので、付箋と模造紙とマジックが必要だということになりました。

最後に、活動報告の分担や変更、司会の原稿の作成をして、準備を終えました。

次回の委員会は、12月17日（日）にMウイングで行います。